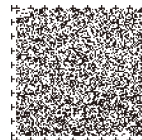


鹿児島県からのお知らせ



11月10日～16日は「アルコール関連問題啓発週間」です

お酒は、生活に豊かさや潤いを与えるものですが、不適切な飲み方は、アルコール健康障害の原因となり、体や心にも悪影響を及ぼすことがあります。

また、飲酒運転や暴力、自殺などの社会的な問題の原因になり、家族への深刻な影響を与える恐れもあります。

この機会に、飲みすぎや未成年者、妊産婦の飲酒など、不適切な飲酒によるアルコール関連問題への関心と理解を深めましょう。

厚生労働省「アルコール健康障害対策」サイト

厚労省ホームページ > 政策について > 分野別の政策一覧 > 福祉・介護 > 障害者福祉 > アルコール健康障害対策

ひとりで悩まないで ～自殺予防のために～

最新の人口動態統計によると、令和2年の自殺者数は全国では約2万人、本県においても270人の方が自ら命を絶っています。県内には、県自殺予防情報センター（県精神保健福祉センター内）をはじめ、最寄りの保健所や市町村などに多くの相談窓口が用意されています。また、県では、新型コロナウイルス感染症に対応した「心のケア相談専用ダイヤル」を開設しています。悩みを抱えている方は、決して1人で悩まずに、まずは誰かに相談しましょう。

【相談窓口】

- ・新型コロナウイルス感染症に関する心のケア相談専用ダイヤル 電話：070-7664-5152
(午前9時00分～午後4時00分まで / 土日祝日も対応、年末年始12/31～1/3除く)
- ・県自殺予防情報センター 電話：099-228-9558 (午前9時00分～正午、午後1時00分～4時00分 / 月・木)
- ・県精神保健福祉センター 電話：099-218-4755 (午前8時30分～正午、午後1時00分～5時00分 / 月～金)
- ・こころの電話 電話：099-228-9566・9567 (午前9時00分～正午、午後1時00分～4時30分 / 月～金)
- ・鹿児島いのちの電話 電話：099-250-7000 (24時間 / 365日)

「手話」を体験してみませんか～手話講座・手話出前講座の御案内～

県では、聴覚障害を理解していただき、手話の普及を図るため、今年度から新たに県民向けの手話講座と県内の事業者や団体等が行う研修等へ講師派遣を行う手話出前講座を開催しています。講座では、あいさつ等の簡単な日常会話を実際に体験していただきながら楽しく学ぶことができます。お気軽に御参加ください。

出前講座（講師派遣）を希望される場合、下記までお問い合わせください。

県ホームページ > 健康・福祉 > 障害者福祉 > かごしま県民手話言語条例が施行されました > 手話講座

一般社団法人鹿児島県聴覚障害者協会 電話：099-228-2016 鹿児島県視聴覚障害者情報センター 電話：099-220-5896



Vol.42 令和3年9月30日発行

[感想をお寄せください]

鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課障害者支援室

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2746) FAX.099-286-5558

[E-mail]shougai@pref.kagoshima.lg.jp

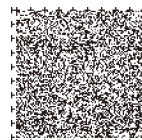
[URL]http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/syogai-syakai/machi/index.html

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へ御連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視聴覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。

[SPコード]について

ページの隅に置かれている、四角い黒い点々を[SPコード](音声コード)といいます。この18ミリ四方の一つのSPコードの中に、日本語で約800字のテキスト情報を格納することができ、専用の読み取り機でSPコードを読み込むと、そのページの内容を音声で読み上げることができます。なお、視覚に障害のある方にもSPコードの位置が分かるように、ページの縁に切り込みを入れています。



R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています